平成24年度松江東高校学校 学校評価表

【評価基準】

肯定的評価		否定的評価		
4	3	2	1	0
よく当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない	わからない

※「評価」欄の記号は、肯定的評価の割合による･･･A：80%以上　B：65～79%　C：50～64%　D：50%未満
※評価平均の塗りつぶしは、肯定的評価70%未満のもの。

教育目標	重点目標	分掌	分掌目標	重点目標番号	評価項目（主な具体的施策）	教職員評価 評価平均	教職員評価 肯定%	教職員評価 評価	生徒評価 評価平均	生徒評価 肯定%	生徒評価 評価	保護者評価 評価平均	保護者評価 肯定%	保護者評価 評価	教職員による ○自己評価　●改善策	学校関係者評価委員会での主な意見
1人間尊重の精神を育てる　2すぐれた人格を育てる　3生涯教育の基礎を確立する　4有為な社会人を育てる	①②総合的な学習を中心とした「学び」の推進 人間力を培う「考える授業」の推進 ③④部活動と中心とした集団的・体験的活動の推進「学び」の推進 「学び」のモチベーションを高める	総務部	○校務分掌の適正化を図る。	その他	業務内容を整理し、業務ごとに他の分掌との連携を図ることができたか。	3.3	93	A							○業務内容の整理、行事の企画・運営見直しが必要。 ●学校行事後のアンケートを実施し活用する。	・「考える力」を標榜するのは危険。考えるには必要な知識ないとできない。 ・学習時間調査の結果も保護者が興味をもとような発信（（情報提供）をしてほしい。ホームページに載せるなどの工夫をしてほしい。子供には「今しかない。」ことを声かけをすべき。 ・社会人でもストレスを抱え込んでしまう人が多くなっている。学校ではいじめがないようにお願いしたい。 ・調査やアンケートなどの業務が増え、現場の教員は大変だと思う。生徒と向き合える時間が持てるよう訴えることで、先生を支えて行きたい。 ・裏道での自転車マナーが悪い。横に並んで通行しているなど指導を要する。 ・企業見学は、文系の生徒にも行ってほしい。製造分野でも、経理や管理部門など文系が活躍している場があることを知ってほしい。 ・担任と生徒が夢を語る時間を持ってほしい。 ・英語のプレゼンテーションよりも日本語で的確に説明したり討議したりできる力をつけるべきである。 ・プレゼン能力を高めることは大切。チームでやることで、生徒が変化することはある得るし、人としての力もつく。発表者が一言ずつ言える状況をつくるとよい。 ・自分が何をしたいか早く決定しそれに向けて始動すべきうである。 ・大学卒業後の事を踏まえた進路指導やキャリア教育を行ってほしい。
				その他	各行事の企画・運営についてさらなる見直しを行い、より実効性のあるものにできたか。	3.2	89	A								
			○保護者・中学校・諸団体等との連携を深め、情報の共有化を図る。	その他	ホームページの情報が迅速に収集・提供できたか。	3.0	74	B	2.9	70	B	3.0	80	A	○HPに掲載する情報の収集システムの確率が必要。 ●学分掌、学年会にHPの情報提供担当者を置く。	
				その他	広報・研修などの委員会活動を通してPTA活動への関心を高めることができたか。	3.0	77	B				3.1	87	A	●部活動の情報提供を、顧問または顧問指名の生徒にお願いする。	
			○創立30周年記念事業に向けた準備を着実に進める。													
		教務部	○基礎学力の充実を図り、豊かな学びへの姿勢を身につけさせる。	①	「考える授業」を実践できたか。	2.9	74	B	3.1	86	A	3.2	87	A	○「考える授業」の取り組みはある程度進んだ。 ●公開授業、モデル授業、各種研修を継続して改善していく。	
				③	学習時間調査の分析を基に、家庭学習を確保させる指導が行われているか。	2.8	71	B	2.9	74	B	2.7	59	C	○家庭学習が定着していない生徒が依然多い（特に平日）。 ●ETCの活用、課題提出の徹底などを学校全体で指導する。	
				③	ETCは基礎学力や学習習慣の定着に効果があったか。	2.9	81	A	3.1	82	A	3.1	86	A	○実施方法や効果について検討すべき点が残る。 ●より効果的な実施方法を検討し、次年度実施計画を作る。	
		生徒部	○基本的生活習慣の確立を重視し、生徒会活動や部活動を通じ、自主・自律の生活を確立する。	①	部活動の成果の発信やオリエンテーションなどを通して、部活動へ加入を促進させることができたか。	3.0	88	A	3.1	83	A	3.2	77	B	●遅刻対策は、校門や昇降口での指導を学年会と協力し学期に1回1週間行う。	
			○社会的な規範やマナーについて学習する機会を設け、社会生活を送る意識を高める。	①	規律ある学校生活を促し、遅刻防止等に努めたか。	2.8	68	B	2.7	61	C	3.4	88	A		
				②	生徒の服装・頭髪に関し教職員の共通理解のもとに指導できたか。	2.7	66	B	2.5	53	C	3.1	83	A	●学期に1回定期試験時に服装頭髪について状況把握し、学年部と協力して事後指導を行う。	
				②	交通ルールの遵守や自転車のマナー向上に努めたか。	3.2	86	A	3.0	80	A	3.1	85	A		
			○生徒と教職員の人権意識を高める情操教育や文化意識を高める。	③	人権同和教育LHRなどにより生徒の人権意識を高められたか。	3.0	90	A	2.9	75	B	3.1	88	A	●講演会や研修会後のアンケートを実施し振り返りを行う。	
		進路指導部	○3年間を見通した進路学習の充実を図る。	③	進路シラバスについて、共通認識のもと進路指導ができたか。	2.8	68	B	3.1	83	A	3.0	84	A	●学年会との連携を進める（進路シラバスの共通認識、進路指導部長の学年会への参加など）	
			○各教科、各学年の指導の目安を明確化する。	③	各教科、各学年の進路指導に有効な資料や情報が共有できたか。	3.1	80	A	3.0	77	B	3.1	82	A	○教科への情報提供は不十分、受験指導は概ね良好。 ●学力向上に関し、CT分析などを通し検証する。	
			○補習科の外部講師との連携を強化し、指導効果を高める。	その他	補習科と連携を取り合い相互の指導効果を高めることができたか。	3.1	87	A							○外部講師との連携で成果をあげた一方、補習科でついて行くことの困難な生徒がいた。	
			○部活動顧問との連携を密にし、学力向上、進路実現に結びつける。												○部活動顧問の理解と協力を得て一定の成果があがった。	
			○情報収集と情報提供につとめ、生徒の自己決定権を最大限尊重する。												●進路研究に関し部内研修会を実施する。	
		保健環境部	○清掃に取り組む姿勢を身につけさせる。	④	掃除時間は清掃指導に専念し、生徒に清掃に取り組む姿勢を身につけさせることができたか。	2.8	63	C	2.8	68	B	3.2	90	A	○清掃の取り組みは全体的に改善傾向。 ●教職員による具体的な清掃指導の徹底をする。	
			○ゴミ分別の徹底を図る。	④	ごみの分別方法を継続的に指導することができたか。	3.0	83	A	2.9	71	B	3.4	90	A	○ごみの分別は概ね良好。部活動から出るごみの処理が課題。 ●部顧問会等で処理方法の連絡徹底と協力依頼をする。	
			○生徒の健康状態を把握し、適宜必要な措置を行う。	③	HR・各教科の時間・部活動などの場面において、個々の健康状態に応じた適切な支援を行うことができたか。	3.3	93	A	3.2	85	A	3.5	94	A	※引き続き細やかな対応および報告を行う。	
			○現在必要とする健康情報及び将来に備えた健康情報を科学的根拠に基づいて提供する。	③	保健便りを参考に、HRや部活動などの場面で保健指導や保健管理をすることができたか。	3.3	94	A	3.0	81	A	3.3	93	A	※引き続き、科学的根拠に基づいた情報提供を行う。	
		教育開発部	○自ら問題を設定し、問題解決する思考力を身につけ、それを具体的に表現し、他人に伝えられるようにする。	①	生徒が自ら学びを深める場面に適切な指導ができていたか。	2.8	76	B	2.9	75	B	3.1	87	A	○探求活動の手順、発表の仕方などに問題点が残った。キャリア教育を意識した授業が機能しなかった。 ●学年部と連携して反省点を明確にする。後者については、資料提供、実施状況の報告を実施する。	
			○自分自身を見つめ、社会や職業について学ぶ事によって、将来自分の進むべき方向について考えられるようにする。	②	学びを深める情報提示ができたか。	2.7	62	C	3.0	79	B	3.1	85	A	○進路ノートで社会との接点を学ぶ機会を設けた。 ●学年部と連携して体験的学習等の企画を進める。	
			○幅広い人間性を育てる読書活動を通して、学びをより深めることができるようにする。	③	積極的な読書活動ができるよう学習センターを活性化できたか。	3.2	91	A	3.1	81	A	3.1	88	A	○総合学習や各教科の内容とリンクして資料準備や連携ができた。貸し出し冊数が昨年より薬35%向上した。 ●教科書の収集・常備、購入希望図書アンケートの実施。	
		事務部	○「光熱水費」等経費の節減に努める。	その他	教室、廊下、トイレ等の照明は不要時には消されていたか。	3.2	93	A	2.8	69	B				●教職員へは経費節減の徹底を周知、生徒には照明スイッチの近くに消灯依頼シールを貼り付け働きかける。	
				その他	職員室、各準備室において、会議等で空室になる場合は消灯されていたか。	3.4	94	A								
			○施設・設備の安全管理の徹底に努める。	その他	パソコン及びプリンター等の電源は退庁時に切られていたか。	3.0	73	B							●各部屋にチェック表を用意し、最終退庁者が確認、退出する。	
		1年学年会	○生徒の人権を尊重し、学習に集中できる環境をつくる。	①	自ら学び、周囲とともに学ぶ姿勢を養うことができたか。	2.9	88	A	3.0	80	A	2.7	59	C	●学習時間調査結果を生徒や家庭にフィードバックする方策を立てる。普段の生活の中で、人権に関する話し、声掛けをする。学年会による授業見学を時期を見て行う。	
				②	LHRや様々な活動の中で他者を思いやり、自分自身を大切にする心を養うことができたか。	3.0	93	A	2.9	73	B	3.2	92	A		
			○生徒の夢を具体的な目標として意識させる。	③	進路指導部と連携し、効果的な情報提供を通じて生徒の進路に対する意識を高揚できたか。	3.1	97	A	3.0	78	B	3.3	87	A	○必要な時期に面談をすることができた。 ●学年会として面談週間を設ける。	
			○部活動や体験的活動を通して生徒の可能性を伸ばす。	④	清掃指導を通して、校内環境の美化と周囲に対する感謝の心を養うことができたか。	2.9	82	A	3.0	76	B				○3学期取り組みが良くなってきた。 ●こまめな声かけをしていく。	
		2年学年会	○生徒の人権を尊重し、学習権を保障する。	①	自らの学習権を大切にさせるとともに、周囲の友人の学習権を侵害させない態度を育てることができたか。	2.8	68	B	2.7	66	B	3.2	92	A	●担任や学年主任から授業や部活動状況を伺いに行く。	
			○生徒の進路意識を高め、具体的な目標を意識させる。	②	学期に2回程度の個人面談を行って、生徒に明確な進路目標を持たせることができたか。	3.0	90	A	2.9	77	B	3.3	85	A	○個別面談の実施状況はよかった。 ●面談のテーマを明らかにして生徒の意識付けを行う。	
			○部活動や生徒会活動など体験的活動を通して、リーダーシップを高める。	③	部活動や生徒会活動に積極的に参加させ、東高の中心としての自覚を持たせることができたか。	3.1	95	A	2.8	73	B	3.3	86	A	○日常の整理整頓など徹底できていない面が多かった。 ●気づいた教員が指導する。学ぶ環境の整備の大切さを意識させる。	
		3年学年会	○東高の最高学年として、部活動・学校行事に責任を持って取り組ませる。	④	機会を捉えて学年集会を開き、学年全体の意思統一を図れたか。	3.2	97	A	3.1	80	A	3.1	74	B	○概ね達成できた。	
			○個々の進路実現に向けて、最大限の努力をさせる。	③	面談を繰り返し、生徒の進路意識を喚起できたか。	3.3	96	A	3.2	83	A	3.3	91	A	○概ね達成できた。 ●2学期の保護者面談は、10月より12月実施が効果的である。	
			○人権を尊重し、自他ともに認める心を養う。	その他	人権学習LHRを充実させ、人権意識を涵養することができたか。	3.1	96	A	3.1	85	A	3.2	93	A	○概ね達成できた。	
			○あらゆる機会を利用して、問題解決能力を養う。	②	「問題点は？」「解決するにはどうしたらいいと思う？」といった働きかけをすることができたか。	3.0	93	A							○達成できた。	